

事業名「石墨町ほたるの里づくりカワニナ養殖事業」

団体名：石墨町未来の会

事業の目的：石墨町では深刻な人口減少が続いている。その石墨町で「ほたるの里」を実現し、交流人口を増やすために、地域住民と子どもたちが一緒になって、カワニナ養殖事業に取り組む。

薄根地域を流れる四釜川の上流である石墨町の取り組みをモデルとして各地域に広げていきたい。

事業の内容：①地域住民によるカワニナ養殖事業 ②薄根小学校の子どもたちによるカワニナ養殖
③養殖地の整備 ④カワニナの放流 ⑤ほたるの観察

令和2年度は、案内看板を4カ所設置し、ほたるの里の周知を図る。

事業の効果：地域住民と小学生に養殖を依頼し、子どもたちには自然環境面に関心を持ってもらい地区の「ふるさと愛」向上に繋げ、地域住民とほたる観賞に訪れる方との交流により、石墨町を知ってもらい、ふるさと創生に繋がる効果が期待できる。



補助金を活用してカワニナの養殖をするための機材を購入しました。薄根小学校の生徒が毎日餌を与えカワニナを育てました。



薄根小学校の生徒にはほたるの里づくりの協力と、ほたるの餌となるカワニナの説明をしました。



薄根小学校の生徒200人が参加し、生徒が育てたカワニナを放流しました。



ホタルの里

今年度は、棚田とホタルの里の案内看板を作成しました。
(写真は、看板デザイン)

今後の事業展開

昨年度からカワニナを養殖し、耕作放棄地や棚田が残る石墨町を「ほたるの里」にしようと計画しました。今年度は、ほたるの里を案内する看板の作成に補助金を活用しています。コロナ禍で話し合いが出来ず、看板作成が遅れておりますが、近いうちに完成予定です。

「夏には、石墨町でほたるが沢山見られるよ！」そんなまちづくりに取り組んでいきます。

令和2年度市民協働によるまちづくり事業補助金事業報告

令和3年度事業計画募集案内

市民協働によるまちづくり事業補助金は、市民と行政のパートナーシップにより魅力あるまちづくりを推進するため、地域の活性化や課題解決に向けた市民の自主的な活動を対象に、予算の範囲内で交付しています。令和2年度は6事業の交付が決定されましたが、コロナ禍により3事業が中止となりました。今年度実施した3事業について、ご紹介します。

令和2年度まちづくり補助金活用事業報告

- スポーツ吹き矢を通じた高齢者の居場所づくりと健康増進事業
(スポーツ吹き矢健康倶楽部)
- ジモトで夢を持ち挑戦する心を育む人材育成事業
(利根沼田夢大学)
- 石墨町ほたるの里づくりカワニナ養殖事業
(石墨町未来の会)



◆◆問合せ先◆◆

沼田市市民協働課協働推進係
電話0278-23-2111
内線3051、3052

『市民協働によるまちづくり』へ
皆さんのアイデアをお待ちしております。

☆☆☆令和3年度事業計画を募集☆☆☆

- ◆申込期限 令和3年3月15日(月)午後5時まで(※郵送の場合は、3月15日の消印分まで)
- ◆補助対象者(応募できる団体)
5人以上の構成員を有し、その過半数が沼田市内に在住、在勤または在学する市民活動団体で、市内に活動拠点をもち、市内において活動していること。
- ◆補助対象事業
地域の活性化や課題解決を目的に、新たに取り組む事業や、既存の活動を拡充する事業で、市民の自発的な参加によって行われる公益性のある事業。 ※対象事業費は10万円以上
【事業の例】
地域における子供の育成、世代間交流、地域安全、自然環境整備、芸術・文化活動の推進、地域情報化、新たな企画による地域のイベント、地域の人材育成など。
【対象外事業】
 - ・市の他の補助を受けている事業又は補助対象となる事業
 - ・他の団体を補助する事業
 - ・事業効果が特定の個人又は団体のみに帰属する事業
 - ・集会施設その他既存建物等の修繕を目的とした事業
 - ・団体の運営を目的とする事業
 - ・宗教的、政治的宣伝意図のある事業
 - ・営利を目的とした事業
 - ・当該事業に対する事業主体の経費負担のない事業
 - ・その他補助することが適当でないと認められる事業

◆事業実施期間

令和3年4月1日から翌年3月31日までの間(継続が必要な場合は連続して2年を限度)

◆補助金の額

1年目 補助対象経費の2分の1以内(限度額は15万円)

2年目 補助対象経費の3分の1以内(限度額は10万円)

◆補助対象経費

当該事業を実施するために、直接必要となる経費が対象。



事業名「ジモトで夢を持ち挑戦する心を育む人材育成事業」

団体名：利根沼田夢大学（利根沼田まち映画制作委員会）

目的

利根沼田地域の若者たちにジモトをもっと好きになってもらい、ジモトを誇りに思う若者たちを増やすこと。

内容

「利根沼田を持続可能で心躍るまちにする」をテーマに活動する利根沼田夢大学の学生が中心となって「ジモト」から「日本」、そして「世界」へ発信する市民参加型の利根沼田まち映画「ユメシズ〜とねに咲く笑顔の花〜」プロジェクトを実施。
監督は群馬県内でもまち映画を多く手掛ける藤橋誠監督。



【利根沼田地域での撮影風景】



沼田市 片品村 川場村 昭和村 みなかみ町

コロナ禍において事業中止の可能性もありましたが、デジタル活用で非接触のWEBオーディションから始まり、安全対策をしながら演技練習、セリフを覚えたり、ロケハンをして各地を巡り、練習を重ね、ようやく撮影にこぎつけました。
そして利根沼田（沼田市、片品村、昭和村、川場村、みなかみ町）各地の皆さまにご協力をいただきながら合計五日間の撮影を事故もなく無事に終える事ができました。

効果

本事業に参加した皆さんは最初はお互い緊張していましたが一年を通し様々な挑戦を続ける中で年齢関係なくひとつのチームになることができました。それは、企画をした私たちにとっても素晴らしい経験となりました。

若者を中心に今まで関わっていなかったり、見過ごしていた地域の魅力に出会いました。その中で沼田を中心とした自然豊かな利根沼田のすばらしさを体感することでジモトをもっと好きになっていただくことができました。

【今後の展開：上映会について】

2021年3月14日（日）に利根沼田文化会館大ホールで上映イベント「夢大祭〜Smail Smail Smail〜」を開催予定です。
開催時には入場制限やマスク着用、検温、アルコール消毒等の徹底や社会状況に応じたオンライン配信など新しい日常対応の開催方法を検討中です。
私たちの想いが詰まったこの作品を通して観ていただいた方の心に笑顔の花が咲くことを願っています。
お問い合わせや観覧のお申し込みはメール「t.n.yumedaigaku@gmail.com」から、又は右記のQRコードからお願い致します。

【INFO】



QRコード

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「Sustainable Development Goals」とは、国連が目指している「持続可能な開発目標 / SDGs（エス・ディー・ジーズ）」の事。私たち夢大は「SDGs」を支援し、活動を通してその取り組みを推進しています。

事業名「スポーツ吹き矢を通した高齢者の居場所づくりと健康増進事業」

団体名：スポーツ吹き矢健康倶楽部

☆☆事業の目的☆☆

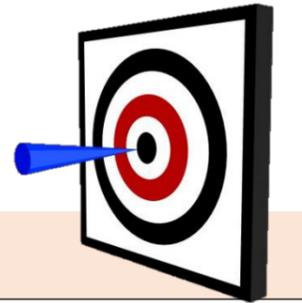
スポーツ吹き矢の練習を通して、オーラルフレイル予防や高齢者の居場所づくりを行うとともに、健康増進の取り組みを行うことを目的として事業を継続していきます。

☆☆事業の内容☆☆

高齢者が抱える悩みとして、社会性の衰えや会話の機会がなくなること、口腔機能の衰えによる栄養摂取への影響で筋肉量の減少が始まること、精神面でも家に閉じこもるようになることなどが考えられます。こうした様々な悩みの軽減につながるスポーツ吹き矢の練習や試合を仲間と一緒にいき、住み慣れた場所で楽しく暮らし続けることを目指します。

☆☆事業の効果☆☆

オーラルフレイル予防をすることにより健康の増進が図れます。



練習参加者へ競技の基本事項を説明する事務局長と会員の皆さんです。

90歳の方も参加していますが、すぐに的の的中できるようになります。礼からはじまり、礼に終わる心技体の鍛錬にも！

練習参加人数によつて的を何本立てるか決めていきます。
本日は、的三本を立てて練習をしています。

体験用の道具は無料で貸し出します。
お気軽にお問い合わせください。



今後の事業展開

現在の会員数は22名ですが、数多くの方が参加できるような会として運営をし、高齢者の居場所づくりや健康増進のために活動しています。会員の練習成果が発揮できるよう年一回の大会開催や他の団体との交流会等を企画していきたいと考えています。皆さんも一度体験してみませんか？